

平成29年3月31日

新潟市立乳児院

平成28年度 事業報告書（概要版）

指定管理者

社会福祉法人 愛宕福社会

理事長 池田 弘

1. 管理運営業務の実施状況

平成28年度も引き続き運営理念・基本方針に沿って家庭的かつ専門的な養育支援、保護者支援、里親支援に取り組んだ。リスク管理はより強化し、安全管理の基盤を作ったといえる。

また、第三者評価を受審し、乳児院運営指針・第三者評価基準の理解を深めるとともに、現状の施設の課題についての共有を施設内で行い、すぐに課題解決に向けて動くとともに次年度の計画の中にも位置づけるなどして質の向上にも努力をした。

地域との交流としては、ボランティアの定期、随時の受け入れや近隣の八千代保育園の子育て支援センターちゅうりっぷの利用を通し、子どもと地域との関わりを持てるよう努めた。また、BPの講師派遣、地域の子育て家庭向けの離乳食講座なども実施した。

2. 苦情及び要望等の受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 里親研修受け入れ

月 日	里親の区分・組数	管轄児相	実習内容
7月17日18日	養育里親 1組(2人)	新潟市	養育の手技・乳幼児との関わり
8月 6日 7日	養育里親 1組(2人)	新潟市	養育の手技・乳幼児との関わり
8月11日12日	養育里親 1組(2人)	新潟市	養育の手技・乳幼児との関わり
9月 3日 4日	養育里親 1組(2人)	新潟市	養育の手技・乳幼児との関わり
9月18日19日	養育里親 1組(2人)	新潟市	養育の手技・乳幼児との関わり

*研修終了後にアンケート実施：満足度100%

4. 実習生受け入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	2	2	1	2		2	0	1	2	1

合計受け入れ数13名 3月次途中中止

*子どもの入所の少ない時期の実習について課題があった。

*実習生が子どもの権利擁護を学べる環境を構築した。

5. ボランティアの受け入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	6	7	8	8	4	9	6	9	9	12	12	7

合計受け入れ数 97名

*定期ボランティア3名

6. マニュアルの作成・改訂

乳児院運営指針、第三者評価基準に基づき、運営の質、養育の質の標準化・平準化を保つために平成27年度はマニュアルの作成を行った。平成28年度においては、そのマニュアルをもとに、業務等を実施し、マニュアルの見直しを行った。業務の実施方法も改善が重ねられマニュアルにもその改善に伴い改訂が必要になっている。改訂の手続きが済み次第平成29年度は順次マニュアルの差し替えを行っていく予定となっている。

<マニュアル一覧>

○運営マニュアル

- ・防災マニュアル ・防犯対策マニュアル ・子ども虐待防止マニュアル
- ・事故発生対応マニュアル ・苦情解決及び相談マニュアル
- ・プライバシー保護マニュアル ・ボランティアマニュアル
- ・入退所マニュアル（重要事項説明書） ・新入職員マニュアル

○養育マニュアル

- ・睡眠 ・授乳、調乳 ・離乳食 ・幼児食 ・栄養、食物アレルギー
- ・排泄（おむつ交換） ・沐浴、入浴 ・衣類 ・清潔な環境

○保健管理マニュアル

- ・乳幼児突然死症候群SIDS予防マニュアル ・養育における保健活動
- ・保健記録、参考資料

○感染症および疾病に関するマニュアル

- ・インフルエンザ ・ノロウイルス

○記録に関するマニュアル

- ・養育方針、計画 ・養育日誌、経過記録

7. 収支決算書

別紙参照

8. 自主事業

離乳食講座の実施

平成28年12月8日 がんばりすぎない離乳食～作っちゃおう食べちゃおう～

参加者3名 +別日の簡易的に1名

平成29年3月22日 とりわけ離乳食をマスターしよう

参加者5名

BP 講師派遣 ①6月6日、13日、20日、27日

②8月4日、11日、18日、25日

③10月17日、24日、31日、11月7日

離乳食講座に関しては、施設の有する機能を活かし、少人数での調理体験や会話を通し、普段の悩みなどが気軽に相談できる関係づくりも目的にして開催した。利用者からは次回も期待する声があがり好評であった。

BPの講師派遣については中央区2回、秋葉区1回の開催に講師を派遣した。

9. 要求水準・目標値

業務仕様書に基づき業務を遂行した。評価指標の「里親研修」は昨年度は新規開設ということで受入れは実施しなかったが、今年度は、5組の養育里親研修を実施した。実習内容も工夫をし、研修受講者アンケートでも「施設の雰囲気」「職員の態度」とも100%「よい」のとの回答を得ている。

安心安全の取り組みとし施設内でのヒヤリハットの収集分析にも注力をした。今年度は、1,000件を超えるヒヤリハットの収集があり、前年度との比較分析や子どもの年齢や発達におけるアクシデントの増減、玩具の劣化によるアクシデントなどの状況分析を行い、現状の業務等の見直しなどに繋がった。また、ヒヤリハットについては、事故等につながる案件のみではなく、適切な関わりに関することなどについてもヒヤリハットとして収集し、質の向上への意識醸成につながっている。

市内事業者への再委託、物品等の市内事業者からの調達率は93%と目標をクリアしている。

ボランティアの受け入れ述べ人数は昨年52名、今年度は97名で目標を上回った。

地域との交流に関しては、地域の子育て家庭に対し12月と3月に離乳食講座の実施、BPの講師派遣3講座分を実施している。子どもと地域の交流としては、地域子育て支援センターちゅうりっぷやなかなか古町などを利用して、子どもたちが自然な形で地域の住民と交流できるよう注力した。ちゅうりっぷ利用述べ477人 なかなか古町利用述べ100人。